

moving

vol.44
ムービング
2006年4月20日発行(季刊誌)
北九州市立男女共同参画センター
ムーブ情報誌

特集

男女協働のための
北九州企業懇話会
平成17年度
男女協働実践
企業表彰



CONTENTS

- 誌上講座 指導的地位の女性を増やす
第1回「困難な中間管理職の意識改革」
鹿嶋 敬 (実践女子大学人間社会学部教授
内閣府男女共同参画会議議員)
- ムーブ事業報告 ●ムーブ事業案内
- 第2次男女共同参画基本計画について
- (財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)
からのお知らせ
- “レディスもじ” “レディスやはた”からのお知らせ

平成17年度男女協働実践企業表彰の受賞者決定!!

男女協働のための北九州企業懇話会 男女協働実践企業表彰受賞者

■【個人部門】「ベストボス～輝く女性像～」

★株式会社ケイ・ビー・エス 代表取締役社長 安部 高子 氏
★NHK 北九州放送局 チーフ・アナウンサー 迎 康子 氏

■【企業・事業所部門】「ひと味ちがう我が社の取り組み」

★医療法人 寿芳会 芳野病院様

男女協働のための北九州企業懇話会（会長：北九州市立大学教授 斎藤貞之）は、平成14年に発足し、男女がともに働きやすい職場環境づくりに向けた事業を展開しています。その一環として、平成14年度より男女協働実践企業表彰を実施し、今回で4回目となります。本年度は、個人部門の対象を、働く女性にとって目標となる女性管理職・経営者に絞って募集しました。最終的に個人部門11件、企業・事業所部門4件の応募をいただき、懇話会で選考をした結果、ベストボス賞2名、取り組み賞1社を決定しました。

表彰式が3月17日に行われ、斎藤貞之会長から表彰状が、ムーブの羽瀬川康子所長から楯が授与されました。

懇話会では、平成18年度も引き続き、男女協働実践企業表彰を実施します。



受賞された方々
左から ベストボス賞 安部氏 選手 取り組み賞 芳野病院様

【個人部門】「ベストボス～輝く女性像～」

★株式会社ケイ・ビー・エス 代表取締役社長 安部 高子 氏

表彰理由
安部氏は、ホテルのレセプションへの人材派遣業を昭和55年に起業。産業形態が製造業中心の北九州市にあって、市内にお手本のない中、いち早く時代の流れや経済の変化を受けとめ業務内容を多様化していくなど、常に進化することを求めてきました。社員の能力開発にも力をいれ、様々な教育研修に積極的に参加させており、「あとから謝るような仕事はない」との信念のもと厳しくも温かい指

導により社員からの厚い信頼を受けています。現在、北九州商工会議所女性会副会長を務め、昨年11月に女性会員メンバーにより発足した「子育ておたすけたい」の座長として子育て支援事業の立ち上げに向けて活動しています。これら、女性経営者として自ら努力を惜しまない、バイタリティあふれる働きぶりは、働く女性にとって「私もいつかは・・・」との目標になっていると認められました。

★NHK北九州放送局 チーフ・アナウンサー 迎 康子 氏

表彰理由
迎氏は、昭和49年に入局、東京アナウンス室などを経て、平成14年に北九州放送局に着任。現在、チーフ・アナウンサーとして後輩アナウンサー・女性キャスターの指導にあたり、後進育成に力を注いでいます。また、地域情報番組の編集責任者も担当しており、専門職・行政職両方の職務を担っています。昔は男性女性の仕分けがあり、女性は補佐的な役割が多かったという放送業界ですが、迎氏のような

女性アナウンサーの着実な仕事ぶりが、女性がメインを務める番組も決して珍しくないという最近の職場における男女共同参画への流れに大きく貢献しました。仕事柄不規則な勤務時間の中、2人の子どもの子育てをしながら専門技術の向上に努め、功績を残してきた迎氏は、局内外において高く評価されており、仕事と家庭を両立しながら活躍する女性のモデルとして認められました。

【企業・事業所部門】「ひと味ちがう我が社の取り組み」

★医療法人 寿芳会 芳野病院様

表彰理由
芳野病院は平成16年3月「子育て応援宣言(※1)」に登録、平成17年4月に院独自の取組み内容を具体化した「行動計画」を策定。積極的な子育て支援を打ち出したことで、育児休業取得率が急激に増加し、現在取得率・復帰率共に100%を維持しています。また、実際に取組みを推進するにあたっては、職員対象の意識アンケートをもとに柔軟な対応を図っていることも特筆すべき点です。例えば、小学生未満の子どもを持つ職員対象の「短時間勤務制度」は、それぞれの都合に応じた利用を可能にし、毎月実施の「ノー残

業デー」は、指定された3日間のうち各自が設定できるようにしています。育児休業取得者に対してもメンタル面でのケアは厚く、休業後の円滑な職場復帰ができるようにしています。このような男女が共に働きやすい職場環境づくりへの細かな配慮が実績とともに高く評価されました。

(※1) 福岡県が実施する「子育て応援宣言登録制度」。

男性も女性も子育てしやすい職場作りを目指す。

平成18年3月14日現在210社（北九州市内17社）が登録を行っている。

ごあいさつ *

希望にあふれる4月。北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」は開所11年目の新たな挑戦を始めました。この4月から(財)アジア女性交流・研究フォーラム(以下KFAW)が「ムーブ」の指定管理者として管理・運営を行っています。これまで以上に効率的で充実した事業実施と施設運営が求められることから、KFAWが有する日本や他のアジア地域の女性問題に関する先進的な知識や情報をムーブ事業に反映させ、国際的な視点で地域課題に取り組んでまいりたいと思います。

すなわち平成18年度を新たなスタートの年として位置づけ、

「利用者層の拡大とPR活動の強化」「女性のチャレンジ支援の推進」「相談業務のより一層の充実」「市民活動支援・連携の強化」を重点事項に事業の充実とサービスの向上に努めてまいります。男女共同参画推進の拠点施設として、先進的でかつ市民の皆様に頼りにされる「ムーブ」を目指します。

今後ともご支援ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

(財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長 三鷹 佳子
北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」所長 羽瀬川 順子

平成17年度男性学講座

おとこのライフセミナー

~自分らしく生きること~

男女共同参画社会を実現するには女性のパートナーである男性の理解が不可欠です。おとこのライフセミナーは、「女性問題は男性問題でもある」という視点から、男性に意識改革を促すために行っている講座です。「おとこのライフセミナー」として9回目となる今回は「自分らしく生きること」というテーマで、男性講師3名に「ご自身の“これまで”と“これから”、その中の妻や子どもとの関わり方」をロールモデルとしてお話いただきました。また、第4回には男女別・男女混合の意見交換会を行ったのち、講師からご講演いただき「自分らしく生きること」について考えました。

第1回

2月4日(土) 講演タイトル「原田康広の場合」 原田 康広 (株)ゼンリン社長取締役社長

参加者: 105 (内男性57)

第1回の原田康広さんには、「社長として、夫としてどのように過ごされたか」、「その暮らしの中での葛藤」、「家庭と仕事とのバランスに悩まれたこと」などを、講師のお人柄どおり「正直に」お話をいただきました。地元大企業の現役社長が講師ということで、いつも以上に多くの男性の参加があり、参加者からは「男女で一人前という一言が非常に印象的で、とても納得した」、「夫婦お互いの足りないところは助け合うということの大変さを実感できた」などの声が聞かれました。

第2回

2月26日(日) 講演タイトル「大関直隆氏・洋子氏夫婦の場合」 大関 直隆 (土木新会社社長)
大関 洋子 (上級教育カウンセラー)

参加者: 58 (内男性21)

第2回はまず、「素敵なお産をありがとう」(大関家の家族全員が立ち会った洋子さんの出産ビデオ)を鑑賞し、その後に洋子さんから、「お二人の馴れ初め(洋子さんは直隆さんの高校1年生の時の担任)」や、「出産に家族全員に立ち会ってもらった理由」、「主夫である夫について」などを、直隆さんからは「どのように主夫をしてきたか」や「家族について」などお話をいただきました。参加者からは「自分らしく生きることとは、1つ1つ困難を乗り越えて、うそをつかずに生きられるようになることかな」と感じた、「主夫(婦)とは、掃除・洗濯・料理だけでなく、地域との関わりを持つことが重要なとされるのは目からうろこだった」、「人間関係は共通の体験から生まれ、その積み重ねが大切、とは全くそのとおりと思われた」などの感想が聞かれました。

第3回

3月16日(土) 講演タイトル「藤田宣永氏の場合」 藤田 宣永 (作家)

参加者: 98 (内男性33)



第3回の藤田宣永さんには、「男性」と「女性」を客観的に捉え、参加した男性にとって「これから生き方」に、女性にとって「男性」という生物や「男性との接し方」に参考になるお話をいただきました。「男の本音が楽しく聴けた」、「作家の視点の広さはさすがだと感じた」、「今日の話を聞いて、夫にもやさしく接することができるような気がする」、「(藤田さんの妻である)小池真理子さんとの夫婦間の絆が垣間見られて、楽しかった」などといった感想がありました。

第4回

3月26日(日) 講演タイトル「『男らしく』から『自分らしく』へ」 中村 彰 (ジャーナリスト)
メンズセンター運営委員会

参加者: 20 (内男性9)

4回目はまず、男女に分かれて「パートナー」や「仕事」、「男らしさ・女らしさ」についての意見交換会(グチ大会)を行い、その中で出た内容を発表、その後男女混合での意見交換会・発表、最後にまとめとして中村彰さんに「自分らしく生きること」へのヒントとなる講演をいただきました。「女性からの見方・考え方方が少し理解できた」、「男性も働きすぎず、人生を楽しめる、ゆとりをもてる社会になれば、と思う」、「参加した皆さんのがんばりを過して、自然な男女交流ができた」などの感想がありました。

4回とも内容の濃い、おもしろい内容で、盛況のうちに終えました。

3月26日(日)

講師：生島 ヒロシ（キャスター）

参加者：130（内男性35）



おとこのライフセミナー特別編として、西母の介護体験がおありの生島ヒロシさんに、介護の実体験に基づくものや、先生自身が勉強されて必要と感じられたものなどを、わかりやすく、詳しくお話しいただきました。当初の予定終了時間を超過しての熱気あふれるご講演に、参加者からは「もっと聴きたかった」、「お話し上手で聴きやすく、実体験に基づくものなどとても参考になった」、「（介護体験という）大変なお話にもかかわらず、楽しく、明るくお話をいただき、とても良かった」などの感想があり、「（とても素晴らしいお話を）あつという間に時間が過ぎた。また、生島さんのお話を聴きたい」という声は非常に多く聽かれました。

ムーブシネマ

『ダブルシフトパパの子育て奮闘記』

開講日	参加者
3月10日(金)	90名（内男性20名）

男性の育児休暇を考えるスウェーデン映画『ダブルシフトパパの子育て奮闘記』を上映しました。「子育ては夫婦共同参画」が前提で、「夫の育児休暇は当然の権利」という現代スウェーデン社会を舞台に、若いカップルがさまざまな試練を乗り越えて初めての子育てに取り組み、親として、人として成長し、家族愛に目覚めしていく、というコメディ・タッチの楽しいホーム・ドラマで、参加者からは「育児の大切さを父親に知ってもらうことはいい事だと思う。日本でも父親の育児休暇を習慣づけて欲しい」、「全ての会社で男性が育児は両親で」という考えになって欲しい、「育児の楽しさ、悩みが切实に伝わってきて非常に良かった」、「社会状況が日本とは異なるが、男性の育児参加が必要で楽しく育児が出来る環境を整えることが必要だと思った」などの感想がありました。



©ダブルシフト上映委員会

平成17年度 第11回
エンパワーメントの女性学講座

ジェンダーの問題をさまざまな角度から取り上げているエンパワーメントの女性学講座。
前号に続いての実施報告です。

Aコース 「少子化と女性学」(全5回)

●第5回「少子化と地域社会」

講師：江原 由美子（首都大学東京教授）
12月10日(土)

第1回も担当された江原先生に本コースの締めくくりとして、主に子育て環境をテーマにお話をいただきました。時代と共に人間関係の希薄化が進み、子育てに必要な環境が損なわれてきたことを取り上げ、カナダの先進的な取組みや国内の活動例を紹介しながら、子育てに関する情報の提供やネットワーキング作りなど地域における子育て支援の重要性が確認されました。

Bコース 「グローバリゼーションと女性学」(全3回)

●第2回「職場から日本人は消える？のか」

講師：足立 真理子（お茶の水女子大学助教授）12月18日(日)

グローバル化がもたらした再生産労働※の国際分業についてお話を伺いました。既にケア労働の送り出し側として機能しているフィリピンの現状を取り上げながら、将来外国人労働者を受け入れる側として、この分野の労働をどのように位置づけ、関係を作っていくべきか一人ひとりにとって重要な課題であると示されました。

※生産的労働力を供給するために必要とされる労働。家事・育児・介護・コミュニティ活動など。

●第3回「難民とグローバリゼーション（地球規模化）
～私たちのバレスチナ問題」

講師：岡 真理（京都大学助教授）1月15日(日)

本コースの最終回は、グローバル化の不均衡に焦点をあてるべく、バレスチナ問題について考えました。この問題が近代に起ったものであるにも関わらず、歴史的に続いてきた宗教対立であるかのように認識されているという情報の不均衡に気づき、「国際社会や最近の問題をどのような視点でとらえ取り組むべきか再考させられた」「視野が広がった」などの感想が寄せられました。

困難な中間管理職の意識改革

女性管理職を増やすにあたって、まず障壁になるのが中間管理職、すなわち40、50代のお父さんたちの旧態依然とした女性観である。この人たち、別に悪い人ではない（なんだか他人行儀な書き方だが、筆者自身も新聞社で中間管理職、デスクを経験した）。

大方は妻子を怠り、毎朝ギューギュー詰めの電車に揺られて出勤するまじめなお父さんたちなのである。ところが出席などで気がゆるんだりすると、「女は結婚し、子どもを産んで“なんぼ”」「仕事は男にまかせなさい」なんて、女性社員の神経を逆なでするような本音をつい吐露してしまうものだから嫌われる。

彼らを変えるのは容易ではないが、変えなければ「女性の登用」は進まない。女性が管理職になれるか否かは、現場を預かる彼らの推薦のあるなし很大程度に作用するのだから。この人たちが変わらなければ“202030”計画、すなわち「2020年までに社会のあらゆる分野で指導的地位に女性が占める割合を30%に」という第二次男女共同参画基本計画の重要な課題も実現はおぼつかない。

とはいっても、本当に人の意識など変えることが可能なのだろうか。どうも私たちは、「意識変革が必要」などと、この言葉を安易に使い過ぎてはいないだろうか。

ジェンダー・ダイバーシティの名の下、企業内の男女間格差の解消に努めてきた担当者は次のように語ったものである。

「どんな成果があったかって？ 中高年男性も理解では女性が企業で活躍することの重要性はわかっているが、本質的に理解をすることができない。それが発見できたことが成果です」

ま、そんなものなのだと思う。目標と期間を決めて努力するポジティブ・アクションに関する講演を中間管理職に聞かせるくらいでは、すぐ右から左へと抜けてしまうのである。ではどうすればいいのか。

中間管理職の脳を男女共同参画型に変える具体例としては、例えば以下のようなアイデアが考えられる。

①テキスト使用型

会社の廊下でそれ違った時いつも笑顔で会釈してくれるが仕事ぶりは平凡な女性社員と、お世辞1つ言うわけでもないしあ愛想笑いをするわけでもないが仕事はよくできる女性がいるとする。あなたは2人にどのような評価を下すか。

このようなテキストを使用して、赤線でも引かせながら、女性登用の本質を学ばせる。入試も昇進試験も赤線を引きながら実験してきた年代だけに、この手法、成果があるかもしれない。



かしま たかし
鹿嶋 敬

実践女子大学
人間社会学部教授
内閣府男女共同参画
会議議員

profile

千葉大学を卒業後、日本経済新聞社に入社。30年余にわたって、女性労働問題、女性問題などを取材。

編集局生活家庭部長、編集局次長兼文化部長、編集委員などを経て、2005年から実践女子大学人間社会学部教授。

【主な著書】

- 「雇用破壊 非正社員といふ生き方」(岩波書店)
- 「男女共同参画の時代」(岩波新書)
- 「男女論激」(岩波新書)
- 「男の雇権財」(岩波新書)
- 「男と女 契わる力学」(岩波新書)

②ディスカッション型

女性社員と管理職が一堂に会し、お茶くみから女性社員に対する評価の問題までを徹底的に議論する。本音のぶつけ合いになるので、役員クラスが1人でも2人でも参加し、公平な立場でレフェリー役を務める必要がある。女性社員、管理職双方が、それぞれの胸の内を知ることはお互いを理解する上での第一歩になる。

③ロールプレイング型

例えば会社での何かの催しの際、寸劇を行う。管理職にはあえて女性社員に理解がない上司という役、あるいは上司の無理解に泣く女性社員といった役を割り振り、寸劇を通じてこの問題の本質を考えさせる。あらかじめ女性社員の悩みを調査やヒアリングを通じて把握しておき、それをシナリオ化するのもアイデアである。

④昇進の条件型

女性社員をキチンと育てることができないような上司は上級管理職になる資格はない。というわけで、「女性社員を育てる」ことを部長、役員登用の条件にする。昇進がかかるれば、「女性社員は敬して造ぞけるにかぎる」と無責任に横えではない。

以上4つのアイデアは、いずれもすでに幾つかの企業で実施しているものである。要するに男性中間管理職を変えるには、講演を聞くなど軽い刺激も必要だが、時には「女性社員を育てなければ管理職になる資格なし」といったムチもふるわなければならないということだ。

“202030”に向か、企業、行政は今、様々な取り組みが求められている。

男女共同参画社会の実現を目指す

おとこのライフセミナー

内容 男女共同参画という21世紀型の新しい男のライフスタイルについて、講演やワークショップを通して学びます。

ムーブの出前講座

内容 セクシュアル・ハラスメント防止研修(テキスト付)やジェンダーについて、企業・学校・地域などへの講師派遣を行っています。

(テキストのみの注文も受け付けています。1冊300円 送料別)

エンパワーメントの女性学

内容 男女共同参画社会の実現に向けて、毎年開催している女性学講座です。その時々の女性やジェンダーに関する問題を取り上げ、第一線で活躍する講師を迎えて学びます。

*平成18年度 Aコース開講!
「北九州市女性の100年史 おんなの軌跡・北九州」を読みこなす(全12回)
第1回 4月29日(土) 13:00~15:30

キャリアアップを応援

パソコン講座

開催時期 年6期間催
定員 各コース 24名
対象 どなたでも
市外の方も参加できます
受講料 午前講座 ¥14,000
午後講座 ¥13,000
夜間講座 ¥13,000
託児 あり(午前・午後講座のみ)
(6ヶ月以上就学前まで)
会場 ムーブ5階 OAルーム
内容 初心者から、キャリアアップを目指す方までそれぞれのレベルにあわせて受講できます。日曜日開設の一泊講座(受講料¥3,500)などもあります。

【ワード】【エクセル】基礎/中級/上級
【CS試験対策講座(ワープロ/表計算)】
ホームページ作成、お楽しみ講座など
火曜・水曜・木曜・金曜(週1回計8回)
[午前] 10:00~12:30
[午後] 14:00~16:00
[夜] 18:30~20:30
一日講座は毎月開催しています

英会話講座

開催時期 第1期 5月~7月
第2期 9月~11月
定員 各コース 12名
対象 どなたでも
市外の方も参加できます
受講料 ¥15,000
託児 あり(初級のみ)
(6ヶ月以上就学前まで)
会場 ムーブ5階 企画ルーム2

初級	前半30分は文法の基礎を、後半1時間は実際の読み物に触れ、楽しみながら話せる力を養います。英語に自信のない初心者の方にお勧めです。
	ハリウッドセレブのインタビューや映画から、セリフを抜粋して、様々な英語に慣れ聞き取ると同時に使えるよう練習します。映画も有名なものばかりで楽しいプログラムになっています。
	様々なトピックスについてディスカッションし、その中で重要な表現を学びながら語学力を鍛えます。英語が得意な方、ビジネスで必要な方、国際的な視野を持ちたい方などにお勧めです。

OAルームの個人利用

日時 毎週水曜・金曜 14:00~16:00
毎週土曜 9:30~18:00
(水・金曜と土曜13:00~18:00は
インストラクターが常駐)
受講料 2時間 ¥300
託児 あり 要予約
(1才6ヶ月以上就学前まで)
会場 ムーブ5階 OAルーム
内容 ワード、エクセルなどの各アプリケーションソフトやインターネットがご利用いただけます。

アジアを見よう! ~韓国コース・中国コース

【韓国コース(第1期:文化)】
日時 毎週金曜日 14:00~15:30 全6回
定員 20名
受講料 ¥6,000
託児 あり(6ヶ月以上就学前まで)
対象 どなたでも
内容 歴史的背景や社会構造、価値観など日本とは異なる韓国の文化を映画やドラマも取り入れ学ぶ。(第1期 5月19日開講予定)
※第2期(語学)は木曜日19:00~20:30で9月開講予定

【中国コース】

日時 毎週木曜日 19:00~20:30 全10回
定員 15名
受講料 ¥12,000
託児 なし
対象 どなたでも
内容 初心者対象で、ビジネスや旅行で使用できることを目標として語学を学ぶ。(第1期 5月18日開講予定)

女性起業家支援塾

定員 30名
対象 起業を志す女性で日程に参加できる方
受講料 未定
託児 あり(6ヶ月以上就学前まで)
内容 起業を志す女性を対象に、実際に起業するためには必要な知識と実施計画の立て方を学ぶセミナーです。ビジネス・アイディアの立案から、成功事例の研究、労務財務の基礎知識の学習を経て、事業計画書の作成まで行います。
(秋頃開講予定)

女性起業家相談会

定員 12名
対象 これから起業予定、または既に起業している女性
受講料 無料
内容 中小企業診断士や税理士等の専門家が幅広くご相談をお受けします。

働く女性のための キャリアアップセミナー

対象 5年以上勤務する女性
定員 20名
受講料 無料
内容 女性が責任ある職務を遂行できるよう、スキルアップするための講座です。

再就職サポートセミナー

対象 再就職を希望する方
受講料 無料
内容 再就職に役立つ基礎知識やビジネスマナーなどを学ぶ講座です。

自己表現セミナー

対象 どなたでも
受講料 無料
内容 講場で、会議で、またプライベートで、効率よく表現していくためのノウハウを身につける講座です。

子育てを応援・女性の健康

いまどきママのリフレッシュ講座

日時 ●木曜日 13:00~15:45 全6回

開催時期 ●第1期 4月~5月

第2期 9月~10月

第3期 11月~12月

定員 ●18名(抽選)

対象 ●就学前の子どもを持つ母親

受講料 ●¥2,000

託児 ●あり(6ヶ月以上就学前まで)

内容 ●子育て中の女性を対象に、荷物や仕事や家庭で疲れた心と体をリフレッシュするための講座です。前半は、女性を取り巻く様々なことをお母さん同士で話し合うことで不安な気持ちを軽くします。後半は、エアロビクスで日頃使わない筋肉を動かして体の中からストレスを解消します。
(第1期 4月6日開講予定)

マタニティエアロビクス

日時 ●火曜日 13:00~15:30 全5回

開催時期 ●第1期 5月~6月

第2期 8月~9月

第3期 10月~11月

第4期 2月~3月

定員 ●20名(抽選)

対象 ●妊娠14週以上の健康な妊娠(医師の許可が必要)

受講料 ●¥3,000

託児 ●あり(6ヶ月以上就学前まで)

内容 ●妊娠・出産期の女性の心と体の健康の為の講座です。助産師や先輩ママが妊娠・出産に関する疑問や不安にお答えします。出産に役立つ情報交換や精神的にリラックスした後は、マタニティエアロビクスで筋肉・関節をやわらかくし、お腹の痛みを軽くします。
(第1期 5月9日開講予定)

フィットネスルーム個人利用

日時 ●毎週水曜・金曜日 9:30~21:30

日曜日 9:30~17:00

インストラクターが常駐

利用料 ●2時間 ¥300

託児 ●あり(水・金のみ)

(1才6ヶ月以上就学前まで)

会場 ●ムーブ 4階 フィットネスルーム

内容 ●各種トレーニング機器がそろっています。2時間ごとにストレッチ体操も開催しています。

4月から
利用日が
変わりました

創造活動で自己表現

創作工房一日体験講座

開催時期 ●年11回開催

対象 ●どなたでも。市外の方も参加できます

受講料 ●材料費

託児 ●あり(6ヶ月以上就学前まで)

会場 ●ムーブ 4階 工芸室・料理室

内容 ●木工や工芸に気軽にチャレンジできる一日体験講座です。木工教室の他、草木染めや手織り講座もあります。
(第1回 5月10日木工教室予定)

手造り和紙創作講座(糸塚開拓講座)

対象 ●どなたでも。市外の方も参加できます

受講料 ●材料費

託児 ●あり(6ヶ月以上就学前まで)

会場 ●ムーブ 4階 工芸室・料理室

内容 ●可能性に富んだ素材である和紙から多様な作品を生み出し、自己表現をしていきます。
(11月開講予定)

工芸室個人利用

日時 ●毎月第2・3・4水曜日※祝日を除く 9:30~17:00

インストラクター(木工専門)が常駐

利用料 ●2時間 ¥300

託児 ●あり(1才6ヶ月以上就学前まで)

会場 ●ムーブ 4階 工芸室

内容 ●工芸室にある設備・道具がご利用いただけます。

ムーブ相談室のご案内

一般相談

相談員が、ジェンダーの視点から、こころと生き方についての相談をお受けします。

【電話相談】

火~日曜 10:00~13:00と16:00~17:00

金曜 13:00~17:00

*面接相談は予約制

性別による人権侵害相談

性別による差別的取り扱いやドミナント・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントなどの相談をお受けします。人権侵害相談の申し出を受けた場合、必要に応じて関係者への調査を行い、相手方への改善の働きかけを行います。

【相談時間】

火~日曜 10:00~13:00と15:00~17:00

金曜 13:00~17:00と18:00~20:00

*面接相談は予約制

グループ相談

●第1・3木曜日 14:00~16:00

「どんぐり~DVについて話しませんか?~」

同じような悩みや経験を持つ人の集まりです。
お気軽にご参加ください。

法律基礎講座

テーマにそって弁護士がわかりやすく解説した後、参加者の質問に答えます。参加は無料です。申込みが必要です。

①一般相談専用電話 093(583)3331

②人権相談専用電話 093(583)3663

③④⑤のお申込み 093(583)3939

女性の人権に関する法律無料相談

弁護士が相談に応じます。申し込み受付日に予約してください。

【開催日時】※原則として下記の月3回

第1火曜日 13:00~15:00

第2土曜日 13:00~15:00

第4金曜日 18:00~20:00

【受付方法】申し込み受付日(市政だよりに掲載)の10:00~13:00。各回4名(調整)

子どもの部屋の利用(託児)

託児をご利用になれるのは…

①ムーブの主催講座の参加者

②一時託児 毎週 水・金曜日の9:30~17:00 (1日1回2時間まで)

フィットネスルーム・工芸室の個人利用、図書情報室、交流広場、

OAルーム、グループ活動室、市民活動サポートセンターを利用する方

③一時託児 毎週 土曜日の13:00~17:00 (1日1回2時間まで)

OAルームの個人利用をする方(3日前までに要予約)

お預かりができるのは…

ムーブ主催講座 生後6ヶ月以上就学前まで

一時託児 生後1歳6ヶ月以上就学前まで

お申し込みは…

ムーブ主催講座 講座のお申込みの際に予約

一時託児 当日、3階の“子どもの部屋”で受付

利用料
月会員 ¥3,000
(月1回2時間)
1回料 ¥300

募る! 北九州市のジェンダー問題を調査・研究する市民グループと研究者(グループ)

「ムーブ」では、北九州市のジェンダー問題を掘り起こし、自主的に調査・研究する市民グループや研究者(グループ)を募集します。今年は、「北九州市男女共同参画社会の形成の推進に関する条例」の基本理念を項目に基づく自由課題のほかに、「女性のチャレンジ支援について」という研究テーマを設けます。北九州市の女性や男性が自分らしくいきいきと生きていくことのできる社会をつくるため、ぜひ、ジェンダーの視点で調査・研究し、提言してください。

平成18年度の調査・研究テーマ

- 次の2点からテーマを選択して、ご応募ください。
- ①自由課題
「北九州市男女共同参画社会の形成の推進に関する条例」の基本理念に沿ったもので、これに基づいた自由な研究課題を設定してください。
- 「北九州市男女共同参画社会の形成の推進に関する条例」の基本理念(6項目)
1.男女の人権の尊重 2.社会における性差又は慣習についての配慮
3.政策等の立案及び決定への共同参画
4.家庭生活における活動と他の活動の両立
5.互いの身体的特徴及び性に関する理解並びに性に関する個人の意思の尊重
6.国際的な相互協力
- ②「北九州市における女性のチャレンジ支援について」
北九州市において必要とされている「女性のチャレンジ支援」や、地域の実情や特性に応じた「女性のチャレンジ支援」のあり方など、具体的な支援策につながる調査・研究課題を設定してください。

支援対象となる調査・研究

- ①北九州市におけるジェンダー問題であること。
②問題解決への提言が含まれていること。
③調査・研究の結果やデータが、今後の北九州市の施策や「ムーブ」の事業に反映・活用できるものであること。
※この調査・研究によって得られた調査データおよび論文の著作権は当センターに帰属します。

応募資格

- 市民グループ
北九州市に在住・在学・在勤の3名以上のメンバーで構成されたグループ。研究テーマの設定から、調査、動筆、報告までの作業を自主的にできること。
- 研究者(全国の研究者個人、または研究者グループ)

支援内容

- ①応募内容を検討のうえ、2組程度を選考し、調査・研究にかかる経費の全額、または一部を助成(上限45万円)
②調査・研究に関するアドバイス(基本的に市民グループのみ)
※研究者についても、調査・研究の進行状況の確認をさせていただきます。
③調査・研究に関する資料作成やミーティング等に必要な場として、「ムーブ」内の施設を提供

応募受付期間

平成18年4月1日(土)
～5月31日(水)

応募方法

申込書に必要事項をご記入のうえ、ご提出ください。
申込書は「ムーブ」にあります。
「ムーブ」ホームページからもダウンロードできます。

お問い合わせ・販売先

北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」女性情報課
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4
TEL/FAX(093)583-5082
E-mail move@move-kitakyu.jp

◆『ムーブ叢書 ジェンダー白書4 女性と少子化』発売!! ◆

第4弾の特集テーマは、「女性と少子化」です。少子化、この社会現象を「男女共同参画」という視点で切ると、どんなことが問題として見えてくるのか、研究、企業、医療、保育などの分野から多彩な執筆陣が少子化問題に鋭く迫ります。また、いま注目の漫画家で分析力に定評のある倉田真由美さんやコミュニケーションを大切にするスポーツコメンテーターの宮本和知さんにご登場いただき、仕事、恋愛、子育てなどについて語っていただきました。ぜひ、いろいろな立場の幅広い年齢層の方々に読んでいただきたい一冊です!!

- 【紹介】 少子化と男女共同参画 江原由美子(首都大学東京教授)
【各論】 家族主義政策の終結としての超低出生率—家族サポート・ネットワーク構築の失敗 落合恵美子(京都大学大学院教授)
少子化時代における父親の子育て参加促進の方向性 松田茂樹(第一生命経済研究所副社長研究員)
少子化時代の子育て支援の現状と課題—北九州市の保育・子育て支援の現場から 緒岡佐規子(北九州市保育所連絡会長)
「少子化対策」の客観—90年代の少子化対策を検証する 杉本尚代子(金城学院大学教授)
少子化問題と政策—社会保障・税制・労働力供給 遠江寧司(名古屋市立大学助教授)
少子・高齢社会—両齢層と生き方 富安亮子(高齢社会をよくする北九州女性の会代表)
両立支援と企業の役割—子育て支援から両立支援へ 佐藤博樹(東京大学社会科学研究所教授)
少子化社会における企業の役割—男女がきらめく企業をめざしたTOTOグループの事例をもとに 岩中弘美(東海職業総合開拓室室長)
おそれられた若者たち—「出産予備軍」を根柢とする少子化対策 竹原三恵子(朝日新聞生活部記者)
女性と科学・技術—21世紀少子時代における女性科学・技術者への期待と可能性 宮伏きみ子(お茶の水女子大学教授)
少子化と男女共同参画センターの役割 力真由美(北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」ジェンダー問題専門スタッフ)
【コラム】 不妊治療—その進歩と問題点 吾山リカ(精神科医・帝塚山学院大学教授)
女性の活躍拡大—均等法時代のパラドックスとフェミニストの新たな課題 山田昌弘(東京学芸大学教授)
【インタビュー】 多様な生き方の選択肢「シングル・ファーザー」 宮本和知(スポーツコメンテーター)
仕事と恋愛/仕事と子ども 倉田真由美(漫画家)

北九州市立
男女共同
参画センター
ムーブ編
明石書店刊 A5判
定価2,100円
(税込)

ジェンダー白書
ムーブ編

gender

お求めは、「ムーブ」1階回廊・情報室、または近辺の書店で。

※「ムーブ」窓口へご注文・お申し込みの場合、別途1種税でお買い求めいただけます。
(送付料込必要)

【図録情報】 キーワードでつかむジェンダー問題最前線
【資料集】 少子化関連の法文書調査や、次世代育成支援対策推進法に基づいて策定された企業や自治体の行動計画などを掲載
【索引】 少子化という現象をジェンダーの視点で読み解くためのキーワードを索引として掲載

「ムーブ」開所10周年記念事業 未来へ伝える「男女共同参画」
絵本・音楽物語創作コンクール

入選作品集・絵本「みんなちがって…～未来へ伝える「男女共同参画」」 CD「誰も決めていない」を発売!!

「ムーブ」では開所10周年(平成17年7月)にあたり、男女共同参画の精神を「絵本」と「音楽」の形に託した創作作品を全国から募集するコンクールを実施しました。このたび、このコンクールの全入選作品を掲載した入選作品集ならびに、絵本・CD制作対象作品に選ばれ制作された、絵本「みんなちがって…～未来へ伝える「男女共同参画」」とCD「誰も決めていない」が発売されました。男女共同参画の精神を未来へ語り継ぎ、歌い継ぐ次世代へのメッセージとしてぜひ、ご活用ください。

未来へ伝える「男女共同参画」 <絵本・音楽物語>創作コンクール入選作品集

こども部門、わかもの部門、おとな部門までの全入選作品(12作品)を収録しています。絵本(5作品)についてはフルカラーで掲載し、物語、英語作品(日本語要約付)、楽譜など多彩な内容となっています。赤松良子審査委員長の総評をはじめ、各審査委員の皆さんの選評も掲載しているほか、参考資料として女子差別撤廃条約等の法文書もご覧いただけます。

A4判 29頁
定価 1,260円
(税込み)



A4判 211頁
定価 1,575円
(税込み)



絵本「みんなちがって…～未来へ伝える「男女共同参画」～」

● こども部門 最優秀賞受賞作品 ● 作・絵／伊藤 美希 英訳／力武 由美
9歳の子どものみずみずしい感性から生まれた、なぞとき
タッチのユーモアあふれる作品!!
リズミカルな言葉とカラフルな絵が固定化された
男女のイメージを打ち破ります。
★ 日本語と英語が併載されています。

6曲入り
定価 500円
(税込み)



CD「誰も決めていない」

● おとな部門 優秀賞受賞作品 ● 作詞・作曲／鶴尾 淳

思わず口ずさむ♪にも決められて～ない～♪のフレーズ! 英語あり、方言ありの楽しい曲です。
子どもたちの合唱によるオリジナルバージョンのほか、マーチ、ジャズ、オーケストラ、
オルゴールバージョンなど6曲が楽しめます。BGMとしてもどうぞ!

国男女共同参画社会基本法に基づく 第2次男女共同参画基本計画が閣議決定されました (平成17年12月) 計画期間は平成18年度から平成22年度です

POINT

① 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

- 2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%になるよう期待し、各分野の取組を推進
- 各分野で積極的改善図に自動的に取り組むことを奨励

② 女性のチャレンジ支援

- チャレンジ支援策を推進し、情報提供のワンストップ・サービス化
- 一旦家庭に入った女性の再チャレンジ(再就職、起業等)支援策を充実
- 育児等を理由に退職した者の再就職先として正社員も含めて門戸が広がるよう企業の取組を促す

③ 男女雇用機会均等の推進

- 雇用分野において実質的な男女の均等を確保するための方針についての検討の結果を踏まえ適切に対応し、更なる男女雇用機会均等を推進

④ 仕事と家庭・地域生活の両立支援と働き方の見直し

- 男性も含めた働き方の見直しを大幅かつ具体的に推進
- 短時間正社員など質の高い多様な働き方を普及
- 短時間労働者への厚生年金の適用の在り方について検討

⑤ 新たな分野への取組

- 新たな取組を必要とする分野(科学技術、防災(災害復興を含む)、地域おこし・まちづくり・観光、環境)における男女共同参画を推進
- 女性研究者の採用等拡大、育児等との両立支援
- 男女のニーズの違いを考慮した防災対策
- 女性が参画した地域づくりの優良事例の普及
- 環境保全分野での女性の参画を拡大

⑥ 男女の性差に応じた的確な医療の推進

- 医療関係者及び国民に男女の性差に応じた的確な医療についての知識の普及を図る

⑦ 男性にとっての男女共同参画社会

⑧ 男女平等を推進する教育・学習の充実

⑨ 女性に対するあらゆる暴力の根絶

- 被害者の保護や支援等の施策の推進
- 女性に対する暴力の予防のための対策の推進

⑩ あらゆる分野において男女共同参画の視点に立って関連施策を立案・実施し、男女共同参画社会の実現を目指す

* ~世界の環境首都を目指して~ 北州市民・環境フォーラム

主催：エコライフステージ実行委員会、(財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)

協力：北九州市、毎日新聞社 後援：北九州市教育委員会

平成18年2月19日(日)に若松市民会館において、ケニア環境省副大臣のワンガリ・マータイさんを囲んで「～世界の環境首都を目指して～北州市民・環境フォーラム」が開催されました。当時は、エコライフステージ実行委員長でもある三輪佳子KFAW理事長がコーディネーターとなつて、マータイさん、末吉賀一北九州市長と語り合ひながら、会場の皆さんとともに「グリーンベルト運動」「もったいない」「世界の環境首都」という3つのキーワードから考えました。



市民環境フォーラムのトーク風景
マータイさん(中央)と末吉賀一北九州市長(右)、三輪KFAW理事長(左)

マータイさんは、1977年から農村の女性を中心に種々な活動を行う「グリーンベルト運動」を先導してきました。この活動は、環境保全ばかりではなく、女性の経済的自立を促進し、貧困から抜け出す道筋を与えたことが「持続可能な開発、民主主義と平和への調査」と評価され、2004年に環境分野では初めてのノーベル平和賞を受賞しました。その後、マータイさんはReuse(再使用) Reduce(廃棄物の発生抑制) Recycle(再生利用)の3Rの精神を表すのに最適な「もったいない」という日本語に出会い、環境保護という視点につなげていきたいと考え、世界中にこの言葉を広めています。

末吉市長からは、北九州市の公害克服の歴史やその原点である母親をはじめとする女性グループの「青空が欲しい運動」などが紹介され、過去の経験を踏まえて北九州市は「世界一住みやすく、環境にいいまち」という理想を掲げて、市民とともに「世界の環境首都」を目指して取組んでいる現状が語られました。

続いて、会場の高校生が「ぼくたちは環境のためにどのようなことをすればよいのでしょうか」と質問すると、マータイさんは「今やっていること、勉強に集中しなさい。自分が何かを決める立場になったとき、知識や技能、また自分の決意があれば必ず正しい決定をくだすことができます。世界中のあらゆる争いは、最終的には資源を誰が持ち支配するのかという問題です。3Rを推進すること、感謝の念を持ってものごとを受け止めることや資源を無駄にしないことは大切なことです」と答えました。

最後に、三輪理事長がマータイさんに北州市民へのメッセージをお読みになると、北州市民のバイオニア精神、その勇気は素晴らしいと言いました。「まちを生まれ変わらせた人たち、生活を変えた人たちに会いたいなら、情熱がちのまちを健康なまちに生まれ変わらせた人たちに会いたいなら、北九州市に行きなさい」と、世界中で伝えたいと結びました。



縁の地球を植って、マータイさんと市民代表の皆さんでどんぐりの苗に水を注ぎました。

* スタディツアーア in インド

21世紀は「アジアの世紀」、そして「人権の世紀」と言われています。

今回のスタディツアーアは、「女性や子どもの人権」を調査するため、目覚ましい経済成長を遂げている国、インドにある3つのNGOを訪問するとともにインドの女性団体代表者やフォーラム関係者との懇談会を行いました。

■Apne Aap: 人身取りの被害者として売春に関わらざるを得なくなった女性達やその子ども達を支援しています。奨学金を活用して子ども達への教育、就業支援、さらに母親達が現在の環境から自立できるように生活や健康面でサポートしています。

■SPARC: 貧富の差が激しいインドでは、路上生活者が多いのが実状です。女性達を支援するため住宅資金を積み立て、生活支援をしています。今では国内に10万人ものメンバーがいるそうです。

■INDCARE: スラムに住む女性達の居住権を守るために、不当な立ち退き要求と闘い、教育や健康・生活面をはじめ女性に優しいまちづくりに取り組んでいます。今四ニユーデリー市内の学校に7万食もの給食を提供し、女性達の働く場になっている給食工場を訪問しました。

■懇談会: 各界で活躍している女性達との懇談会をムンバイとニユーデリーで行いました。起業家やマスコミ、教師、NGO等の団体の様子や活動状況について幅広く意見交換ができ、有意義な懇談会となりました。

このツアーアを通して、苛酷な環境の中で自立に向けて通常し、自らの人生を切り拓いていくインドの女性達のたくましさを感じました。11億もの人口を有し、いまだ強固

なカースト制度を保持しながら、急激な経済発展を経て、伝統と近代が混在している大国インド、その底知れぬ力と魅力を実感する7日間でした。今後、アジア諸国の中で、インドの存在感が確実に増していくであろうことを感じました。



NGO INDCARE事務所(於:ニユーデリー)の前で(2006年1月19日)

このページに関する

お問い合わせは

KFAWまでどうぞ



KENYA FOUNDATION FOR ASIAN WOMEN
東アジア女性交流・研究フォーラム

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 北九州市大手町ビル3F

TEL093-583-3434 FAX093-583-5195

E-mail kfafw@kfafw.or.jp http://www.kfafw.or.jp

男女共同参画推進部からのお知らせ

北九州市の男女共同参画の実施状況 (平成16年度事業実施分)について、 報告書ができました!

本書は、「北九州市男女共同参画社会の形成の推進に関する条例」第16条に基づく報告書であり、内容としては、平成17年度に第2期男女共同参画審議会が行った基本計画に掲げる154の具体的施策にかかる203事業に対する評価結果を踏まえて、「事業の実施状況」として説明したものです。

なお、評価結果の概要については以下のとおりです。

総合評価 総合評価としては、「事業内容や実施方法に工夫が見られる等、実施状況は良好である」と認められた。ただし、「基本計画の今後の実施にあたっては、事業担当課等が男女共同参画の視点を持ち、地域、家庭、企業、学校等との連携、男性の参加促進、企業等に対する啓発などを考慮して、創意工夫を凝らし、事業を総合的かつ計画的に推進することが望まれる。」旨の提言が付記されている。

重点課題別評価 重点課題別評価は、6つの各重点課題毎にかかる実施事業についての評価結果に基づいて行ったもの。(A, B, Cの3段階評価)

重点課題	事業数	評価	審議会のコメント概要
重点課題1 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	34	B	市の審議会等の女性委員の参画率は32.5%で徐々に成果が表れているが、民間企業等において、女性の管理職の数が少ないため、効果的な啓発等を行う努力が必要。
重点課題2 男女共同参画の視点に立った制度や慣習の見直しと意識改革・教育の充実	53	A	男女共同参画の視点に立った制度や慣習の見直しと意識改革に関する施策にはかなり力を入れており、評価できる。ただし、学校における男女平等意識の高揚のための工夫が必要。
重点課題3 少子高齢社会に対応した、家庭生活と地域生活・職業生活との両立支援	56	A	家庭生活と地域・職業生活との両立を図るために啓発活動や講座、育児等の支援活動については積極的に取り組まれており、参加者からも好評を得ている。ただし、家庭、地域、職場で一体となって男性の参加を促進する工夫が必要。
重点課題4 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	16	B	就職支援に関するセミナー等は、実用性があり、参加者からも好評であるため評価できるが、労働行政を所管する関係機関と連携し、企業に対する啓発等を積極的に行っていくことが必要。
重点課題5 人権侵害行為を根絶し、一人ひとりが大切にされる取組の推進	30	A	人権侵害行為を防止するための施策や健康づくりの支援については、積極的に取り組んでおり評価できる。ただし、DV対策については、加害者対策等推進すべき課題がある。
重点課題6 国際的ネットワークの形成と国際協力の推進	14	A	(財)アジア女性交流・研究フォーラムが取り組む「アジア女性会議」をはじめとした国際理解の促進と国際協力の推進のための事業が充実している。ただし、市民にとってより理解しやすい方法で事業を実施するとともに、広報を積極的に行うことが必要。



レディスモジ からのお知らせ

平成18年度「パソコン講座」

場所: レディスモジ(北九州市立東部勤労婦人センター)
定員: 14名(学生を除く)

コース名	月日	曜日	時間帯	回数	対象	登録締切日
エクセル3級	5/9~6/27	火・木	18:30~ 20:30	15	在住・在勤の方でマウス操作 や日本語入力の出来る方	4/25 (火)
ワード・エクセル 基礎	5/11~8/10	木	10:00~ 12:00	14	北九州市内に在住の就職を 希望する方	

*受付は各コース共に、〆切り日の1ヶ月前からです。
*申込み方法等、詳細についてはお問い合わせ下さい。

平成18年度「整理師受験準備講座」

整理師の資格取得を目指している人または、整理師の知識を必要としている人のための講座。

日時: 平成18年5月7日~7月16日(日) *7/9を除く 全10回
10:00~12:00 1~8回 10:00~15:00 9~10回
場所: レディスモジ(北九州市立東部勤労婦人センター)
定員: 30名

受講料: 無料(ただし教材費3,300円)

対象: 北九州市内に在住・在勤の方(学生を除く)

申込み: 4月18日(火)午前9:00から電話または来館で。

主催講座には託児があります。事前にご相談ください。

北九州市立東部勤労婦人センター「レディスモジ」

TEL 800-0051 北九州市門司区下馬寄6番8号
TEL 093-371-4649 FAX 093-371-4268
<http://www.k-palace.com/moji/>



レディスやはた からのお知らせ

開校29周年記念講演会

◆「明日を素敵に生きるには」

俳優・映画監督の奥田瑛二氏の妻で、二人の娘の母でもあるエッセイスト安藤和津氏をお招きして、介護・人生観を含めたトータル的内容でお話をいただきます。



日 時: 平成18年6月10日(土) 14:00~15:30

場 所: レディスやはた(北九州市立西部勤労婦人センター)

講 師: エッセイスト 安藤 和津 氏

定 員: 250名(抽選)

参 加 費: 無料

対 象: 一般市民

託 児: 有(1歳以上就学前)200円 事前に相談

申込み: 往復はがき(1枚につき3名まで)①住所②氏名③電話番号を明記の上、5/27(土)必着でレディスやはた「講演会」係まで送ってください。

抽選の後、結果通知いたします。

北九州市立西部勤労婦人センター「レディスやはた」

TEL 805-0059 北九州市八幡東区尾倉二丁目6番6号
TEL 093-661-1122 FAX 093-661-2714
<http://www.k-palace.com/yahata/>



ムーブ利用のご案内

Information

開館時間 9:30~21:30 (AM) 所内整理日 (月に1~2回、ムーブにお問い合わせください。) 及び年末年始 (12月29日から1月3日)

- 施設の貸出については、休業日を除く毎日、利用できます。
- 事業課(主に事務・個人利用等)・女性情報課(図書室等)及び相談業務は毎週日曜日17時以降及び毎週月曜日並びに祝日(月曜日が祝日の場合は翌火曜日も)は休業します。

階	施設名	面積 (m ²)	定員 (人)	使用料					備考
				9:30~12:00	12:00~13:00	13:00~17:00	17:00~18:30	18:30~21:30	
1F	大セミナールーム	276	165	4,100	1,650	6,600	1,971	6,900	机55、椅子165
5F	小セミナールーム	135	60	2,800	1,125	4,500	1,342	4,700	机30、椅子60
企画ルーム1	45	20	900	375	1,500	457	1,600	机11、椅子20	
企画ルーム2	33	18	800	300	1,200	371	1,300	机6、椅子18	
料理室	62	24	1,900	750	3,000	885	3,100	調理台5台(調理用1台含む)、基本調理器具一式	
工芸室	63	24	1,500	600	2,400	714	2,500	作業台4台、被覆机2台、電動工具等	
4F	和室(24畳)	69	36	1,300	500	2,000	600	2,100	基本茶道具一式(電気炉あり)、座布団50
茶室(立札形式)	37	10	1,000	400	1,600	485	1,700	基本茶道具一式(電気炉あり)、椅子12	
フィットネスルーム	226	30	3,000	1,200	4,800	1,457	5,100	各種トレーニング機器	
3F	こどもの部屋	74	15	無料	無料	無料	無料	予約制、貸出には託児券が必要	
A	平日			10,500	4,175	16,700	5,028	17,600	入場料又はこれに類するもの(以下「入場料」という)の最高額が、1人1回につき1,000円以下のとき
B	土日祝			12,600	5,025	20,100	6,028	21,100	入場料等の最高額が、1人1回につき1,000円を超える3,000円以下のとき
C	平日			15,700	6,275	25,100	7,542	26,400	入場料等の最高額が、1人1回につき1,000円を超える3,000円以下のとき
D	土日祝	647	520	18,800	7,525	30,100	9,028	31,600	入場料等の最高額が、1人1回につき3,000円を超えるとき
E	市長ギャラリー	47	—	無料	無料	無料	無料	常駐監視役が1名必要	
F	交流広場	403	200	6,300	2,525	10,100	3,028	10,600	

*付属設備を使用する場合は、別途設備使用料が必要となります。※使用料の欄に100円未満の端数があるときは、その端数は切り捨てるものとします。

2006 4月		2006 5月		2006 6月		2006 7月		2006 8月		2006 9月	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31	30	31

事業体連携
(商取引用、
申込みの際)

所内整理日
(のじめ休業)

会議予約締切日
(10:30~)

施設に関するお問い合わせは 093-583-3939 まで

編集後記

今年度の講上講座は、国連女性の地位委員会の2006年のテーマのひとつである「意思決定過程への平等な参画」を受け、実践女子大学教授ならびに内閣府男女共同参画会議議員でもある鹿嶋敬さんに「指導的地位の女性を増やす」というテーマでご執筆をお願いいたしました。今回ご執筆いただいた44号の講上講座は、実際の現場において取組を進める時に参考としていただける

のではないでしょうか。

また、昨年12月に閣議決定された、第2次男女共同参画基本計画で重点事項として挙げられた事項がいくつかあります。平成18年度も地域や市民の皆様とのつながりを大切にしながら「ムーブ」としての事業を展開し、男女共同参画を促進する取組ができるたらと思います。



北九州市立
男女共同参画センター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL.093-583-3939 FAX.093-5107
ホームページアドレス ◆ http://www.kix.or.jp/move_we/
E-mail ◆ move@move-kitakyu.jp

アクセス ◆ JR西小倉駅より徒歩 約15分
◆ 西鉄バス「九州厚生年金会館前」下車
小倉駅/バスセンター 小倉駅100円周辺/1ス
27~45
110 134 138

小倉駅前 75
◆ 北九州都市高速 山手ランプ・大手町ランプ出口より約3分

発行：北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 TEL.093-583-3939 FAX.093-5107
制作・販売：株式会社 西広 表紙イラスト：田中綾子

定期読者の募集

MOVINGの定期読者になりませんか?

ご希望の方は、封筒に送付先(住所・氏名・電話番号)と、郵送料1年分(120円切手×4回)を同封し、北九州市立男女共同参画センター女性情報課までお送りください。